



## 進歩する、男性の頭髪治療の現状 —男性型脱毛症—AGA (Androgenetic Alopecia) —

「遺伝だから」と諦めていたAGAの患者さんが、専門医の治療で、髪が増えてうれしいと知らせてくれました。最近の増毛治療は非常に進んでいます。

### ★男性型脱毛症(AGA)の起るしくみ

AGAの原因となるのはDHT(ジヒドロテストステロン)という物質で、テストステロンという男性ホルモンが5αリダクターゼ(5α還元酵素)という酵素の還元作用によって変化した一種の活性型男性ホルモンです。毛乳頭や皮脂腺で、テストステロンがDHTに変化すると毛根は細胞分裂を止めてしまい、次に生える髪の毛は十分に育ちません。AGAになると、DHTの作用で抜け毛のサイクルも短くなり、髪の毛も細く短いままうぶ毛のような状態になります。

### ★AGAは遺伝によるかどうか

母方の祖父がハゲているとしたら、自分も将来、男性型脱毛症が発症する可能性がある、と一般的に思われています。

男性型脱毛症の遺伝に関して『朝日新聞』(05.6.14付け)に以下の記事が掲載されています。ドイツ・ボン大学の研究チームが「ハゲの遺伝子」の有力候補の二つを発見し、米国専門誌アメリカン・ジャーナル・オブ・ヒューマン・ジエネティクス7月号(電子版)に発表しました。「ハゲは遺伝する」と経験的には知られているが、どの遺伝子が原因なのか、詳細は分かっています。研究チームは、40歳以前

にハゲ始めた男性のいる家系の血液を分析してみました。その結果、若くしてハゲ始めた人は、X染色体にある男性ホルモン(アンドロゲン)の受容体遺伝子に変異が目立つことが分かりました。研究チームは「遺伝子変異のため頭皮でアンドロゲンの働きが強くなって、髪の毛が抜けやすくなるのではないかとみています。男性はXとYの二つの染色体をもち、X染色体は母親から受け継ぐため、母方の祖父がハゲていれば、自分もハゲる可能性があります。ただ、研究チームは「ほかにもハゲの遺伝子があると思われるので、一概には言い切れない」としています。

### ★プロペシアによる内服治療

(プロペシアとは)  
プロペシアとは米国医薬品メーカー、メルク社が開発した世界初の内服する育毛剤のことです。

AGAは、男性ホルモンであるテストステロンが5αリダクターゼと結びつくことが、直接的な原因ですから、5αリダクターゼの働きを抑えれば、脱毛の原因となるDHTの生産も抑制されるのです。プロペシアのフィナステリドという成分は、この5αリダクターゼという酵素の働きを抑える効果があり、AGAの進行を防ぐといわれています。

### (プロペシアの治療方法の実際)

プロペシアは限られた専門外来を待つ医療機関での処方となります。錠剤で1日1回(1mg)の服用が基本と

されています。プロペシアを毎日服用し、半年程度続けながら様子を見ることになるでしょう。効果には個人差があります。また、AGA治療は保険適用外で全額自己負担です。

### (プロペシアの安全性)

プロペシアは認可されている治療薬ですが、まったく、副作用が無いとは言えません。

プロペシアは男性用だということに注意しましょう。女性や子供は服用はもちろんのこと、接触も避けなければなりません。とくに妊娠中か、その可能性のある女性は、絶対にプロペシアを使用してはいけません。無く、砕けたり割れたりしたプロペシアの錠剤をさわってもいけません。もし、男子を妊娠している女性の体内にプロペシアの有効成分が入ると、男子の生殖器に異常を起こすおそれがあるからです。専門医の指示の下、正しく服用するようにしましょう。

### 男性型脱毛症に関する情報

AGAに関して様々なかわいしい情報を目にします。下記の情報は信頼できます。参考にしてください。

- ① 万有製薬：薄毛(うす毛)・抜け毛に悩む男性のために、継続的に発信 <http://aga-news.jp/index.html>
- ② HAIR MEDICAL：発毛などの髪の毛の悩みは発毛専門クリニック紹介サイトで。 <http://www.hairmedical.com/irmedical.com/> <http://www.hairmedical.com/> <http://www.hairmedical.com/>

村木クリニック 所在地 堺市中区宮園町2-1-6 TEL 0722-2771633